

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年8月12日 (2010.8.12)

【公表番号】特表2009-541393(P2009-541393A)

【公表日】平成21年11月26日 (2009.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-047

【出願番号】特願2009-516996(P2009-516996)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/40 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 11/08 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/72 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 K 31/58 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/40

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 11/08

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 9/72

A 6 1 K 9/14

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/24

A 6 1 K 31/58

A 6 1 K 31/137

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月24日 (2010.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

グリコピロニウム塩の吸入用乾燥粉末製剤の製造方法であって、(a)グリコピロニウム塩を固着防止剤と混合して均一混合物を得て、(b)該混合物を微粉化し、そして(c)担体粒子を混合して乾燥粉末製剤を形成する工程を含み、当該工程がグリコピロニウム塩の安定性を改善させるものである、方法。

【請求項 2】

固着防止剤がステアリン酸金属塩、結晶糖またはそれらの混合物である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

固着防止剤がステアリン酸マグネシウムまたはステアリン酸カルシウムである、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

固着防止剤がアミノ酸、リン脂質または脂肪酸誘導体である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

固着防止剤がレシチンである、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

担体粒子が結晶糖である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

グリコピロニウム塩が臭化グリコピロニウムである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

グリコピロニウム塩と固着防止剤を、1 種、2 種、3 種またはそれ以上のさらなる有効成分と共に微粉化する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

さらなる有効成分、またはその各々が、サルメテロール、インダカテロールおよびモメタゾンから成る群から選択される、請求項 8 に記載の方法。